

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開催日時	令和4年8月26日(金) 14:00~15:10		
開催場所	Web会議 (Microsoft Teams を利用)		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹		
出席者(委員)氏名	佐藤 徹、本田 直子、新道 龍一、樋口 敦、池田 達生、戸野部 直乃、 中込 英久、内田 富美代、吉田 裕、山浦 瑞穂、國嶋 亮子、山田 孝樹		
欠席者(委員)氏名	宮内 礼子、金子 一夫、竹中 健司		
事務局(庶務担当)	行政経営部長 長島 徹、行政経営部次長 池田 将寛 行政経営課長 本郷 美代子、行政経営課主幹 佐藤 浩 行政経営課主任 三浦 直人		
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果	
	1 開会 2 会議の公開について 3 議題 (1) 令和3年度実績に基づく上尾市地域創生総合戦略の 評価について (2) 上尾市企業版ふるさと納税の令和3年度実績報告に ついて (3) その他 4 閉会	報告・説明と質疑応答	
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者	1人
会議資料	別紙のとおり		
<p>議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="margin-left: 40px;">令和4年 10月 19日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: right;"> <p>会長の署名 <u>佐藤 徹</u></p> <p>議事録署名人 <u>中込 英久</u></p> </div> </div>			

議 事 の 経 過

司会 (行政経営部長)	<p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので「令和4年度第1回上尾市地域創生総合戦略審議会」を開会いたします。</p> <p>私は司会を務めさせていただきます、行政経営部長の長島でございます。本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の審議会でございますが、12名の委員にご出席をいただいております。条例第6条第2項に規定されました、定足数である委員の過半数の出席がありましたので、会議が有効に成立しているということをご報告させていただきます。</p> <p>初めにオンライン会議をする上で簡単なルールを2件お話させていただきます。1点目、発言する方以外の方につきましては、雑音が入らないようにするためにマイクの機能をオフにいただければと考えております。2点目でございますが、ご発言またはご意見をいただく際には、挙手またはリアクションボタンの挙手というところを押していただいて、自分のマイクをオンにいただき、氏名を名乗っていただいて、会長から指名を受けて発言するようにしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上2点でございます。ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
山浦委員	<p>次に本年度の2名の委員の変更がございましたので、この場でご紹介をさせていただきます。株式会社中広メディアソリューションズの山浦瑞穂様、大宮公共職業安定所の山田孝樹様の2名でございます。ここでお二人から一言ずついただきたいと考えております。初めに山浦様からお願いできますでしょうか。よろしくお願いいたします。</p>
山浦委員	<p>情報誌アリフトというものを発行しております、(株)中広メディアソリューションズの山浦と申します。上尾と伊奈エリアを担当しておりますので今後よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>続きまして山田様、よろしくお願いいたします。</p>
山田委員	<p>ハローワーク大宮の山田と申します。よろしくお願いいたします。上尾市様には「上尾市ふるさとハローワーク」の関係でお世話になっております。よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>それでは条例第5条第2項の規定によりまして、この後の進行につきましては佐藤会長にお願いしたいと思います。佐藤会長よろしくお願いいたします。</p>
会長 (佐藤委員)	<p>皆様こんにちは。それではですね、議事の進行を務めさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>2 会議の公開について</p> <p>お手元でございます次第をご覧ください。次第の2「会議の公開」につきまして、まずは事務局からよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>本審議会につきましては、審議会等の会議の公開に関する指針に従いまし</p>

(行政経営課長)	て、この指針策定後の初めての審議会におきまして原則公開ということで採決されておりますことを報告させていただきます。
会長	それでは事務局に確認をいたしますけれども、本日傍聴を希望されている方はいらっしゃいますでしょうか。
事務局	本日傍聴希望者が1名いらっしゃいます。
会長	それでは、ただいまから傍聴者にご入場していただきます。事務局は傍聴希望の方に入場していただいでください。
会長	<p>【傍聴者入場】</p> <p>傍聴者の方はお配りした傍聴要領を遵守していただきまして会議の円滑な進行にご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>次に、議事の正確性を証するため議事録に署名をお願いしたいと存じます。議事録署名につきましては出席委員の中から1名、会長の私より指名をさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの頷き)</p>
会長	特に異議なしということでございますので指名をさせていただきますと思いますが、中込委員、お願いしてもよろしいでしょうか。
中込委員	わかりました。
会長	ありがとうございます。それでは本日の会議の議事録署名を中込委員にお願いいたします。
会長	<p>3 議題</p> <p>それでは、次第の3「議題」に移って参ります。(1)「令和3年度実績に基づく上尾市地域創生総合戦略の評価について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局 (行政経営課主幹)	<p>本日、議題の説明をさせていただきます行政経営課の佐藤と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>資料1のご用意をお願いいたします。こちらは令和3年度から第2期の取り組み期間がスタートいたしました「上尾市地域創生総合戦略」について、令和3年度の実績を取りまとめたものでございます。</p> <p>こちらの1枚目、両面で、下側に1/2、2/2と表記されているものが総括表となります。総括表は、一番左側の列に、大きく3つの基本目標が記載されておりまして、その右側の方に関連する数値目標や、政策に関連する重要業績評価指標、いわゆるKPIが全部で24項目記載されております。また、総括表のほぼ中央の列に進捗状況を記載してございます。</p> <p>この総合戦略が5か年の計画となっておりますが、毎年度の数値目標を立</p>

てておりまして、ここでは、令和3年度の目標に対して、実績が達したかどうかにより「順調」あるいは「遅れ」のいずれかの表記をさせていただいております。令和3年度は、全24項目に対しまして、「順調」が9項目、「遅れ」が14項目との結果になりました。なお、もうひと項目ですが、総括表の2ページ目になりまして、やや上寄り、健康寿命に関しましては、令和3年度の実績が今後まとまる予定とのことでございますので、大変申し訳ございませんが、今回の資料では、「順調」「遅れ」のいずれも記載せず空欄としているものでございます。

ご覧になるとわかるように、全体として「遅れ」の割合が高い結果となりました。後ほど、個別の数値目標、KPIごとにご説明させていただきますけれども、「遅れ」となったものの要因といたしまして、新型コロナウイルスによる行動制限等の影響があるものが多く見受けられる傾向でございます。

総括表の説明は以上とさせていただきます。個別の数値目標等について説明をさせていただきたいと思っております。

それでは、総括表をめくっていただきますと、1ページ目ということで、縦版になっている資料がございます。ここからは、数値目標とKPIの個別のシートとなっております。全部で22ページの資料となります。

まず、シートの構成についてご説明させていただきます。シートの構成といたしましては、各ページの左上の部分に数値目標や、指標の項目、その下の枠には令和3年度から7年度までの目標値と、令和3年度の実績値、さらにそれをグラフ化したものが示されております。その下には、その目標を管理している部署による考察および今後の見通しを記載しております。

なお、基本目標を実現するための重点施策のページ、例えば、1枚めくっていただいた2ページ目をご覧くださいとおわかりになるかと思いますが、グラフの下に更に「主な総合戦略実施事業」といたしまして、関連する実施事業とその予算・決算額もあわせて記載させていただいております。以上が個別シートの構成の説明となります。

それでは1ページ目から順次数値目標等について説明をさせていただきます。最初は、「基本目標1 活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」についてでございます。左上に記載されておりますが、数値目標は、市内法人の従業者数についてでございます。こちらは、R3目標値5万6,945人に対しまして、実績値5万7,234人で達成となりました。主な要因といたしましては、イオンモール上尾の開業と、アマゾンジャパン物流倉庫の本格稼働が考えられます。R3実績が計画最終年度であるR7目標値を上回ったため、R7までの目標値を上方修正させていただいております。修正前・修正後につきましては、上段・下段で分けて目標値の欄に記載させていただいておりますのでご確認いただければと思います。

続きまして2ページ目をお願いいたします。KPIは利用権が設定された農地の面積についてでございます。R3目標値62ヘクタールに対しまして、実績値も同じ62ヘクタールで達成となりました。依然、農業者の高齢化と担い手不足が続いておりますが、目標については達成できた状況です。

続きまして3ページをお願いいたします。KPIは中小企業サポート件数についてでございます。R3目標値163に対しまして、実績値は306件と達成となりました。中小企業サポートセンターの開設に伴う専門家への相談件数増加に伴いまして、支援件数が大幅に増加したものと考えております。中小

企業サポートセンターの更なる活用について、今後積極的なPRに努めることとしております。

続きまして4ページをお願いいたします。KPIは法人市民税額についてでございます。R3目標値16億1,100万円に対しまして、17億600万円で達成となりました。主な要因といたしましては、先ほどの従業員数とも関連がございますが、やはりイオンモール上尾の開業と、アマゾンジャパンの物流倉庫の本格稼働というのが影響しているものと考えております。

続きまして5ページをお願いいたします。KPIはキャリア形成支援対象者数についてでございます。こちらはR3目標値1万3,000人に対しまして、実績値は1万2,777人となり、目標に223人届かず、未達成となりました。各種相談窓口やセミナーの開催により支援者数は増加いたしました。新型コロナウイルスの影響で中止となった事業もございまして、最終的には目標値に達しなかったものでございます。今後、コロナの収束状況もございまして、中止となっていた事業を再開する予定でございまして、そのことにより、支援件数の増加を図ることとしております。

続いて6ページ目をお願いいたします。ここからは、「基本目標2 明日を担う人が育つまちづくり」についてでございます。この項目には2つの数値目標がございます。まず、ページ上段の数値目標「年少人口」についてご説明いたします。R3目標値2万7,095人に対しまして、実績値は2万7,066人となり目標に29人届かず未達成となりました。0歳から14歳までの年少人口のうち、0歳児が今回最も少ない数字となっております。コロナでの出生数の減少が全国的に見られることから、上尾においてもこちらが影響しているものと考えております。今後は、子育て世代に魅力的な事業をPRするとともに、この対策を通じて子育て世代に安心感を与え、年少人口が減少するペースの抑制を引き続き図ることとしております。続きまして、下段の数値目標「学校に行くのは楽しいと答える児童生徒の割合」でございます。中学校では、R3目標値85.0%に対しまして、実績値85.6%と目標値を上回ったものの、小学校ではR3目標値92.0%に対して、実績値90.3%と目標値に1.7ポイント届かず、全体としては未達成となりました。コロナ禍における活動制限が小学校児童に特に影響を及ぼしたものと思われまます。今後、コロナ禍での学校行事等の実施方法を工夫していくとともに、ICT端末の活用を進めることで、数値目標の達成を図ることとしております。

続きまして7ページをお願いいたします。KPIは子育て世代包括支援センターでの対応延べ件数についてでございます。R3目標値、窓口1,830件、電話2,430件に対しまして、実績値、窓口2,030件、電話2,501件と達成となりました。母子健康手帳交付時の全妊婦を対象とした面談から始まりまして、34週、出産後と、節目ごとに相談支援の機会を設けたことが結果に繋がったものと考えております。なお、R3実績が計画最終年度であるR7目標値を上回ったため、R7までの目標値を上方修正させていただいております。

8ページをお願いいたします。KPIは保育園の待機児童者数でございます。R3目標値12人に対しまして、実績値は14人となりました。目標に2人届かず未達成でございます。私立保育所を新たに2か所整備させていただきました。150人拡大した整備でございましたけれども、新規申し込みの増加があったということで、令和3年度についても目標値には達しなかったというものでございます。今後、待機児童の解消に向けまして、引き続き保育所整備等を進めていくこととしております。

9 ページをお願いいたします。K P I は放課後児童クラブの待機児童者数となります。R3 目標値 0 人に対しまして、実績値も同様に 0 人と達成でございます。今後も放課後児童クラブの需要は増加が予想されますけども、施設整備や既存公共施設を利用するなど分散保育を実施しまして、待機児童数ゼロの継続を図ることとしております。

続いて 10 ページをお願いいたします。K P I は地域子育て支援拠点の利用者数でございます。R3 目標値 3 万 8,928 人に対しまして実績値 3 万 6,883 人となり、目標に 2,045 人届かず未達成となりました。各拠点の利用者人数制限が影響し、目標値に達しなかったものでございまして、今後、拠点の利用制限の緩和や取り組みのオンライン開催を検討し、利用者数の増加を図ることとしております。

11 ページをお願いいたします。K P I は児童館の利用者数でございます。こちらは R3 目標値 26 万 6,750 人に対しまして、実績値 10 万 366 人となり、目標に 16 万 6,384 人届かず未達成となりました。コロナの影響による臨時休館や利用時間・人数の制限が影響しまして、目標値に達しなかったものと考えております。今後の対応といたしましては、利用に対するニーズは依然高いと考えておりますので、利用制限の緩和や安全性の周知により、利用者数の増加を図ることを検討してまいりたいと考えております。ここで、前回の審議会におきまして、今ご説明させていただいた K P I 「児童館の利用者数」と 1 ページ前「地域子育て支援拠点の利用者数」につきまして、同じ子どもをターゲットとした指標であるにも関わらず、子育て支援拠点の利用者については右肩上がりの設定をしていて、かたや児童館については、微減の目標設定となっているということについて、この積算のデータ等を確認して、議論をする必要があるのではないかとこの話がございましたので、そちらについての回答をここでさせていただきたいと思っております。まず、10 ページ目の「地域子育て支援拠点の利用者数」の設定の根拠でございますが、こちらの目標値につきましては、現在のコロナ禍の状況を考慮した上で設定されたものでございまして、最終的な令和 7 年の段階では、コロナ禍以前の状況に戻すことを目標にしようということ設定された内容となっております。一方、11 ページ目の児童館の利用者数につきましては、児童人口推計の減少に合わせて、それ以上の減少は抑制しようということで、児童人口の減少幅に見合うところまでで、利用者数減少の抑制を図ろうということで設定した数値でございました。なので、このグラフを一見しますと、増加を図るという目標に対して、もう一方は抑制を図るという消極的な目標というふうに見えますが、実際は、10 ページの子育て支援拠点の利用者数も、以前の水準を維持するといったような目標になっておりますので、維持と抑制という違いがございまして、大きな乖離はない目標というふうに事務局としては考えているところでございます。

12 ページをお願いいたします。K P I は上尾市学力学習状況調査における市内標準得点についてでございます。こちらの R3 目標値は 51.4 に対しまして、実績値は 51.1 でございました。目標に 0.3 ポイント届かず未達成となっております。傾向といたしまして、算数、数学において学年が上がるにつれて得点が低下するというものでございました。今後は算数、数学の授業において、学習内容の円滑な接続ができるよう、学校訪問や各種研修会等を通して各学校を支援することとしております。

13 ページをお願いいたします。K P I は学校応援団の延べ活動日数について

てでございます。R3 目標値 1 万 2,042 日に対しまして、実績値 6,253 日となりまして、目標に 5,789 日届かず未達成でございます。コロナ禍の影響で活動の見直しや制限が影響しておりまして、目標の日数に達しなかったものと考えております。今後は、感染状況にもよりますが、対策を講じながら活動日数の増加を図ってまいりたいと考えております。

14 ページをお願いいたします。ここからは最後の基本目標であります「基本目標 3 魅力があり安心して暮らすことができるまちづくり」についてでございます。この項目につきましては、2 つの数値目標がございます。まず、上段の数値目標、「転入超過の数」についてご説明いたします。R3 目標値 1,671 人に対しまして、実績値 1,850 人で達成となりました。イオンモール上尾がオープンしたことなどで、生活利便性や地域の魅力が向上し、並行してマンション建設や宅地開発が進んだことが、転入増加に繋がったものと考えております。続きまして、下段の数値目標「地域防災訓練の実施率」についてでございます。R3 目標値 96% に対しまして、実績値 44% となり未達成でございます。コロナ禍の影響により、多くの地域で訓練が中止となったことが原因でございます。今後、コロナの状況が落ち着いてくれば、各地域で訓練が行われることを見込んでおりまして、実施率の向上が見込まれるものでございます。

15 ページをお願いいたします。こちらの K P I は健康寿命でございます。先程も、総括表のときにご説明申し上げた内容でございますが、R3 実績値は、令和 5 年に把握可能となることから、今回のシートでは実績箇所を空欄としております。なお、経過でございますが、参考といたしまして、直近の令和 2 年 1 月時点の数値を記載しております。今後とも、健康増進に係る事業を進めまして、関係課が連携し健康寿命の延伸を図ることとしております。

16 ページをお願いいたします。K P I は SNS 登録者数でございます。R3 目標値 1 万 6,800 人に対しまして、実績値 2 万 1,426 人で達成となりました。市の SNS アカウントの登録者数は順調に推移しているものと考えております。今後とも市のホームページ等で周知をより図っていくこととしております。

17 ページをお願いいたします。K P I はふるさと納税の寄附額でございます。R3 目標値、8,000 万円に対しまして、実績値 6,988 万 7 千円となり、目標に 1,011 万 3 千円届かず未達成となりました。コロナ禍における材料調達難により、返礼品の在庫が十分に確保できなかったことが影響したと考えられます。今後は新たな返礼品の登録、クラウドファンディングの活用を検討いたしまして、ふるさと納税の増収を図ることとしております。

18 ページをお願いいたします。K P I はスポーツ・レクリエーション事業の参加者数でございます。R3 目標値 1 万 7,900 人に対しまして、実績値 203 人となり、目標に 1 万 7,697 人届かず未達成となっております。こちらもコロナ禍の影響を受けておりまして、実施事業数そのものが減少しております。加えて、実施した事業においても参加人数を制限したことから大幅に減少する結果となりました。今後は、感染対策を取りながら事業を推進し、参加人数の増加を図ることとしております。

19 ページをお願いいたします。K P I は各種がん検診の受診率でございます。胃がん、肺がん、大腸がんについての男女別の値に、子宮がん、乳がんの値を加えた合計 8 項目について、検診の受診率の目標を設定したものでございます。肺がん検診が男女とも目標を超えましたが、残りの項目では実績

	<p>が目標値を下回り、全体として未達成となったものでございます。今後、対象者全員へのハガキによる勧奨を継続し、胃がん検診については、受診者の利便性を高める検診個別化の検討を進め、受診率の向上を図ることとしております。なお、肺がん検診につきましては R3 実績が計画最終年度である R7 目標値を上回っていましたので、R7 までの目標を上方修正いたしました。</p> <p>20 ページをお願いいたします。K P I は防災士の育成人数でございます。R3 目標値 148 人に対しまして、実績値 145 人となりました。目標に 3 人届かず未達成でございます。コロナ禍の影響を受けておまして、養成講座を予定どおり受講できなかった方がいたことによるということでございます。令和 4 年度につきましては、着実に事業を進めることで防災士の育成人数の増加を図ることとしております。</p> <p>21 ページをお願いいたします。K P I は災害時応援協定の延べ締結数でございます。R3 目標値、133 件に対しまして実績値は 140 件で達成となりました。民間事業者との協定締結数に大きな伸びがあったことによるものでございます。災害時の助け合い体制が充実するよう、引き続き協定の充実を図ることとしております。</p> <p>22 ページをお願いいたします。最後、K P I は市内循環バス「ぐるっとくん」利用者数でございます。R3 目標値 48 万 6,000 人に対しまして、実績値 38 万 2,168 人となり、目標に 10 万 3,832 人届かず未達成となりました。こちらもコロナ禍による外出控えや人流抑制が影響したものと考えております。しかしながら、乗車人数は回復基調にございますことから、感染対策を行いながら、利用者の増加を図ることとしております。以上、資料 1 の説明となります。</p> <p>最後に、この資料の取り扱いについての今後の予定でございます。本日皆様にご審議いただいた後、こちらの資料は市ホームページにて公開する予定でございます。</p> <p>議題 1 の事務局からの説明は以上となります。ご審議のほどよろしく願います。</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。ここからは、質疑応答という形で進めて参りたいと思います。ただいまの事務局の説明に対しましてご質問やご意見等ございましたら、その場で挙手していただくか、あるいはで挙手のボタンを上げていただければと思います。</p>
戸野部委員	<p>様々ご説明ありがとうございます。1 点だけ質問させていただきます。3 ページの中小企業サポート件数についてです。実績値が 306 件ということで、目標値 163 より大幅に高い数値となっております。基準値がコロナ以前の 159 を基準にしての目標設定があったということで、中小企業サポートセンター開設の経過の考察にも書いてありますが、相談件数が増加になったというふうなことが書いてあります。相談のあった業種というのはどういった業種であったか教えてください。</p>
事務局	<p>相談が多かった業種について、業種別の資料が今手元にはございませんのでご案内ができないのですが、相談内容について、参考にお伝えさせていただきます。相談内容につきましては、まず、経営の総合的な内容が約 120 件。I T の活用の相談が約 40 件。あとは現場改善の相談ということで、</p>

戸野部委員	<p>24 件ほどあったというところが主な内容となったということで伺っております。</p> <p>今お聞きした中では、これが直にコロナの影響かどうかというのにはわかりませんが、ITの活用のご相談ということは、やっぱりテレワークとか、そういったシステムを構築していく上でのご相談だったのかなど。その他も様々、インボイス制度とかそういったこともございますので、その導入に対してのご相談だったとか。考察の中で、「この数値が一過性のものか否かは現段階では判断できない」ということと「必要に応じて目標値を変更することも検討する」とありますが、やはり中小企業サポートセンター、このコロナ禍で、多くの企業の方が相談したかったのではないかなというふうに考えるところですので、ぜひそれを検討した上で、また数値の目標を考えていくっていうのは必要な事かなというふうに考えますので、意見として述べさせていただきます。以上です。ありがとうございます。</p>
会長	<p>所管の商工課の方にご意見としてお伝えするような形で対応していただくことはできますか。</p>
事務局	<p>(了承の領き)</p>
池田委員	<p>4 ページのですね、雇用の創出のところですが、これが令和 3 年度目標値に対して 17 億 6,600 万円ということでもかなり増えているわけですね。これの具体的な内容というのはどういう内容かっていうところなんですが、これは倉庫群だとか、そういう大きな建物とかですね、あとイオンモールだとか、そういうのが入っていると思うのですが、どのぐらいの割合かということをお聞きしたいのと、あと、来年の令和 4 年度の目標と今年の実績がかなり接近しているわけですけども、今後の目標値の変更を考えてらっしゃるのか。もう一つは、具体的に人数ですね。法人市民税がアップしているのですが、働く人たちの人数についても把握しているのでしょうか。その 3 点。</p>
会長	<p>事務局リプライをお願いします。</p>
事務局	<p>3 点ご質問いただいたかと思えます。まず一点目、この倉庫等の影響がどれぐらいの割合になっているのかでございますが、大変申し訳ございませんが手元に資料がございませんので、ここで明確な割合等を示せる状況ではございません。2 点目、目標値の再設定はしないのかということでございますが、こちらの計画自体が 5 年間の計画になっておりますことから、現在、事務局のスタンスとして、令和 3 年度の実績値が令和 7 年度の最終年度の目標値を上回った場合、かつ、再設定が適切であろうという場合に再設定をしているものでございます。なので、現時点においては、この項目、法人市民税につきまして、令和 4 年、令和 5 年、令和 6 年の修正ということは考えておりません。最後の質問は法人数のご質問かと思えますが、前年令和 2 年度との比較におきまして、法人数については市内で 120 法人ほど増加しているという状況でございます。以上です。</p>
池田委員	<p>はいどうもありがとうございました。それでは最初の質問のところについ</p>

	<p>ては後で資料をいただければと思います。それと、120 法人が増えているって いうことですが、これが今すぐでなくていいですが、どのぐらいの規模の法 人が増えているのかってところについても、後で資料をください。以上 です。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、後でデータ等あれば、できれば委員の間でもシェアできたらと 思いますのでお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>了解いたしました。</p>
<p>樋口委員</p>	<p>1 点お伺いをしたいのですけれども、K P I の目標値の立て方ですが、先ほ ど 10 ページのところでご説明いただいたときに、この数値ってのはもうコロ ナの影響というのを加味しているというようなお話があったかと思うので すが、他のものに関しては、例えばコロナの影響で達成できていないとか、そ ういったようなご説明の中で、そもそも、その目標値の立てる基準みたいな ものってというのは、どうなっているのかっていうのをお伺いしたいのですけ れども。</p>
<p>事務局</p>	<p>目標値のたて方の基準について、あるのかどうかということでご質問いた だきました。いま例にありましたコロナ禍の影響について考慮すべきとかで すね、そういったものについては特段、統一した基準は設けておりません でした。ただ、各担当部署の方で、そちらを考慮すべきかどうかを判断して いただき、最終的に設定したものでございます。以上です。</p>
<p>樋口委員</p>	<p>そうすると、今回コロナの影響があつて遅れがあるものとかってというのは、 こういうコロナの影響っていうのを目標立てた時点では考慮できてなかつた ってというような認識でよろしいですかね。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちら策定が令和 2 年度末ということで、最終的な目標値等もその時期に 決定したものでございますが、やはりコロナの影響がどこまで続くとかそ の辺につきましても、統一した見通しが立てられなかったというのは事実で ございまして、事務局といたしましても、各所属の判断に委ねたというところ でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>なにかその、市として統一的な基準目標値設定に関するガイドラインみた いなものがあつて、それが原課に提示されて、原課の裁量でいろいろ目標値 を検討されると思うのですけど、そうじゃなくて、それぞれ原課で目標値の 設定について、ご判断されているとそういうことになるわけですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘のとおりでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>目標値の設定の根拠とか、目標値そのものの妥当性という論点は、目標管 理の、あるいはこういった目標管理型の評価をするときに非常に重要な論点 でして、低い目標値を掲げると達成しやすくなるし、挑戦的な目標値を立て るとなかなかクリアできなくなるので、その目標値の意味というのはどうい ったものなのか、どのようにして目標値が設定されているのか、いろんな考</p>

池田委員	<p>え方があるわけですから、実はここはしっかり議論しておく必要があるのですけれども、またお時間あれば機会があればお話したいと思います。</p> <p>8 ページの下の段の「主な総合戦略実施事業」の中で、真ん中よりちょっと下に市立保育所の耐震補強事業ってのがありますね。これが予算に対して決算が 1,200 万ほどマイナスになっている。市立保育所ですから、具体的にこれがなぜこのぐらい減っているのかという原因がわかるのでしょうか。本来ならば、きちんと実施されるべき数字だと思うのですが、そこら辺について教えてください。</p>
事務局	<p>耐震補強の実施箇所数のデータが手元にございませんで、その箇所数についての影響はわかりかねますが、いずれにいたしましても、事業を実施するにあたって入札の手続きが踏まれているものと考えております。入札を行いますと、当然、市が設計した額に対しまして入札率ということで請負額が予算よりは、設計額よりは下がってくるということがございます。ですので、この差額の何割かは、そういった影響により生じているものと考えられます。以上です。</p>
池田委員	<p>そういう事情で下がっているとも考えられるし、もう一つは、本来予定してやるべきところが手がつかなかったのかってという疑問も残るわけですね。そこら辺については今でなくていいですから。具体的な状況をお知らせください。</p>
事務局	<p>了解いたしました。</p>
戸野部議員	<p>せっかくですのでもう 1 点質問させていただきます。14 ページの転入超過の数という点です。先ほど来、目標値の設定がコロナ禍の影響をどう鑑みたかっていうふうなお話もあったかと思うのですが、上尾市も転入超過が令和 3 年度にもものすごくありまして、考察のところ、ショッピングモールなどができたこととか、区画整理事業による宅地開発が進んだというふうな考察ではあるのですが、やはりこれもコロナの、テレワークができるってところで転入超過したのかなってというふうな意見もどこかマスコミですとかそういったところでもあるのですが、こういったこの経過の考察っていうのはどういったところでされているのか教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>こちらの数値目標につきましては、行政経営課で考察をしているものでございまして、転入超過についての分析というのは非常に難しいものがございます。ただ、記載しているものは、明確とまでは言えませんが、大きく影響しているものの一つとしてそれぞれ考えられるものでございますので挙げさせていただいているところでございます。また、先ほど委員のご質問にもございましたが、テレワーク等コロナの影響によるものも、報道等を見ると、上尾市の場合プラスに働いている可能性があることは認識しております。今後、転入者、あとは転出者も含めてですけども、アンケート調査を実施する予定でございますので、またそういった中で、何か見えてくるものがあればご報告をしたいと考えております。以上です。</p>

<p>会長</p>	<p>ご指摘の、転入超過とか転入転出のデータに関しては、第1期の総合戦略を策定する過程、あるいはその前後でやはり議論になりまして、この審議会でも議論になって、きちっと事実・データに基づいて目標値の設定等を行うということがこの審議会でも話し合われました。そのときにもアンケートを取っています。そのアンケートなども参考にしながら、また今度、アンケート調査されるということですので、調査票なども少し比較できるような形で設計していただくとか、何らかの工夫をしていただいて、全数調査する必要もないので、サンプリングでもいいのですけれども、数字がないとイメージしか語れないので、ぜひよろしくお願いをしたいと思います。</p> <p>例えば、既存事業のどこを見直すかとか、あるいは既存事業だけでは目標値が達成できないとしたら新規事業立案ということになるだろうと思うのですけれども、事業名と予算決算額だけだと、事業のどの部分を改善するののかとかしたのかは全く見えない部分がありますので、その辺りを何か工夫をしていただければなというふうに思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは続きまして、次第の(2)の方に移って参りたいと思います。上尾市企業版ふるさと納税の令和3年度実績報告につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題(2)上尾市企業版ふるさと納税の令和3年度実績報告をさせていただきます。資料2に沿ってご説明をさせていただきます。</p> <p>企業版ふるさと納税については、総合戦略に位置づけられたもので、地方創生の観点から効果の高い事業が対象となっております。事業の評価については、行政以外の第三者を参画させた体制で実施する必要がありますので、今回この審議会でご報告させていただくものでございます。本審議会では、令和3年度の実績を報告させていただきます。</p> <p>1つ目の事業といたしまして、中小企業サポートセンター事業がございします。事業の概要は、上尾商工会議所と連携いたしまして、専門家による知識の支援と、補助金による資金の支援の両面からワンストップでサポートする上尾中小企業サポートセンターを令和3年5月に開設したものでございます。きめ細やかな伴走型支援を可能としており、令和3年度の実績は306件でございました。この事業には、さいたま市が本社である日伸産業株式会社からご寄附をいただきました。なお、寄附額については企業の希望で非公表とさせていただきます。</p> <p>続きまして、2つ目の事業です。電子書籍の導入事業です。市民の豊かな心の育成を図ることを目的としておりまして、ウェブ上で電子書籍の検索・貸出・返却・予約・閲覧が行えるものでございます。令和3年9月からサービスを開始いたしまして、令和3年度の実績は7,621点でございました。この事業には、さいたま市が本社の株式会社サイオーから100万円の寄附をいただいたところでございます。</p> <p>最後3つ目の事業でございます。上尾シティハーフマラソンPR事業です。こちらは、ライブ配信や民放テレビ局による特別番組制作を行い、大会PRによる本市のイメージアップを図るものとして寄附を募集いたしました。令和3年度は大会が中止となりましたけれども、企業に対しまして、基金に積み立てた上で、令和4年度の大会で活用するという説明をした上で寄附をいただいたところでございます。この事業には、さいたま市が本社である株</p>

	<p>式会社アイダ設計から 2,000 万円のご寄附を、もう 1 社、東京都千代田区が本社である第一生命保険株式会社から 50 万円の寄附をいただいたところでございます。資料 2 の説明は以上でございます。</p> <p>なお、参考といたしまして、配布させていただきましたこちら、令和 4 年度の企業版ふるさと納税対象事業一覧でございます。こちらの寄附対象となる事業につきましては、今年度の予算に計上している新規事業、または拡充事業であって、上尾市まち・ひと・しごと創生推進計画に位置付けられたものとなっております。議題 2 の事務局からの説明は以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら挙手をいただければと思いますいかがでしょうか。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>一点ご質問させていただきます。各事業に対して賛同いただける企業に対しての募集といいますか、その辺の活動というのは上尾市さんとしてはどんな動きをしていらっしゃるのかお聞かせいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局リプライお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>各企業への周知は、まず、市ホームページで周知を図っていることが一点。もう一点、ふるさと納税サイトの、企業版ふるさと納税専門の掲載ページがございます、そちらに掲載しております。さらに、本市が包括協定を締結している企業がございますので、そちらに、こういった寄附募集しておりますということで周知を図っているところでございます。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>自治体によってはですね、例えば、コンサルを使ったりとか金融機関の方のツールを使ったりと、一定の予算取りをした中で、より積極的な声掛けをやっている自治体もあるわけですが、その辺のところのお考えというのはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員さんからご指摘いただいた内容については、担当である行政経営課の中でも議論があるところでございます。昨年度、初めてこういった企業版ふるさと納税の募集をして、どれぐらい応募があるのかということが不透明でございましたので、様子を見ながらということがございました。ただですね、昨年度の実績を見たときに、今上尾市の受け入れ額等は決して他自治体と比べて低いわけではないところでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>この件につきまして他にどうでしょうか、ご意見ご質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。ないようでしたら、最後に議題の (3) に移ってまいりたいと思います。その他です。事務局から何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>2 点報告させていただきます。</p> <p>1 点目は、総合計画に係るロジックモデルについてでございます。昨年度、本審議会において、ロジックモデルの作成についてご提案をいただきました。ロジックモデルは施策・事業において、資源の投入から最終成果に至る因果関係を明確にするものでございます。その活用については、指標の妥当性等</p>

<p>会長</p> <p>司会 (行政経営部長)</p> <p>本田副会長</p>	<p>の見直しに活用できるものと考えておりますが、現在その作成プロセスや施策推進担当所属と、事務局の行政経営課の役割分担等について検討を進めているところでございます。今後、進捗状況等を随時本審議会へ報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして2点目でございますが、次回の審議会の開催予定でございます。今年度第2回目の審議会につきましては、11月ごろの開催を予定しております。議題といたしましては、先ほどお話をさせていただいた転入者、転出者へのアンケートの内容等につきまして審議いただきたいというふうに考えているところでございます。</p> <p>その他について事務局からの説明は以上でございます。</p> <p>事務局の説明に対するご質問その他、委員の皆様からご意見等ございましたら、特にございませندでしょうか。</p> <p>それではこれもちまして全ての議事は終了いたしましたので、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>4 閉会</p> <p>佐藤会長進行ありがとうございました。それでは最後に本田副会長から閉会のご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様お疲れ様でした。本日は第1回の会議がオンラインで開催されました。皆様のご協力のもと、会議がスムーズに行われたと思えました。ありがとうございました。次回は、また、より進んだ内容のもので充実した上尾の政策を一緒に考えていけたらいいなと思っています。よろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--